



フクロウの^{みみ}耳はどこにあるの

顔全体が集音器

フクロウは、真っ暗な夜に活動するため、特に感度の良い耳をもっています。フクロウの丸い顔は、音を集めるアンテナの役目をしています。顔の左右の内側が少しくぼんでいます。このくぼみの中に耳のあなが二つあります。ちょうど、左右の目の後ろになります。フクロウは、丸くて円の中心がくぼんだ、衛星放送用の電波を集めるアンテナのように、顔全体で音を集めているのです。人間やイヌ、ネコなどでは、耳たぶで音を集めています。フクロウの顔には、やわらかい羽毛が生えているので、このくぼみはちょっとわかりにくいでしょう。

耳のあなは、左右で位置がちがう

フクロウの耳には、顔のくぼみ（人間の耳たぶにあたる）で集めた音が入ってきます。このくぼみのかたむき方が、左右で少しちがっています。耳のあなの位置も、上下に少しずつれています。このため、獲物のたてた音が、獲物の位置によって、左右の耳にわずかにずれて聞こえます。聞こえる音の強さも、ちがってきます。このくぼみのかたむきと、上下のずれで、フクロウは、獲物のいる場所を正確にとらえることができます。

耳のように見えるものは、かざり羽

頭に耳のように見える羽をもつ、フクロウの仲間がいます。ミミズクという名がつけられています。この耳のように見えるのは、かざりの羽です。（監修・今泉 忠明）



フクロウの左右の耳は向きも高さもちがうから、獲物の位置が正確にわかる

